

事後評価書

緊急地方道路整備事業：草場大財町線

《様式》

要 因	(1) 事業概要	(2) 事業による環境の変化	(3) 事業を巡る社会経済情勢の変化	(4) 事業により整備された施設の維持管理状況	(5) 県民の意見
街 路 事 業	<p>事業名：緊急地方道路整備事業 箇所名：佐賀市神野東一丁目、天神二丁目、駅前中央一丁目、駅南本町、愛敬町地内 路線名：草場大財町線 工期：当初工期 H6～H12 変更工期 H6～H15 事業費：当初事業費 39.5億円 変更事業費 42.1億円 事業内容： 延長 L=660m，幅員 W=20.0m (前)車道2車線+片側歩道(W=2.5m) (後)車道2車線+両側歩道 (W=5.5m×2)の現道拡幅</p> <p>事業の背景 本路線は、県都佐賀市における南北骨格街路である佐賀大和線と水ヶ江町神野町線を結ぶ駅南商業地区の重要な東西幹線街路である。 当路線中央部で交差する佐賀駅下古賀線(旧佐賀駅末次線)はシンボルロードとして整備されている。 起点側には文化、教養、情報発信施設を集約した「どんどんどの森」が整備された。</p> <p>街路事業整備前は、車道は2車線整備されているものの、右折車線は正規に確保されておらず、また、歩道は北側に2.5mのマウンドアップ歩道があるのみで、歩行者、自転車ともに通行しづらい状況にあった。</p> <p>事業の目的 このため、街路事業により2車線の車道及び右折車線を整備するとともに併せて両側に広幅員の歩道を整備し、交通混雑の解消と歩行者・自転車の安全確保を行った。 また、整備にあたっては、交通面の問題解決のみならず、電線類の地中化や街路樹の植栽による景観形成を行い、ゆとりある良好な都市環境を創出するものである。</p>	<p>生活環境 ・街路樹を植栽したことによる、大気質の改善や、街路樹の緑蔭の形成により、周辺の気温の上昇を抑制した。 ・車道部を排水性舗装にすることにより、自動車の騒音を低減した。</p> <p>自然環境 街路樹を設置したことにより、都市内の緑量が増加した。</p> <p>社会文化環境 電線類を地中化したことにより、景観がよくなるとともに、防災機能が強化された。</p>  <p>整備前の状況</p>	<p>街路事業を実施し、両側に広幅員歩道が整備されたことにより、沿線に新たな商業施設やマンションが進出し、新しい街区が形成されている。</p>  <p>整備後の状況</p>	<p>管理状況 ・県道であるため、県による路面清掃、舗装補修、街路樹の剪定等の維持管理を行っている。 ・自転車歩行者道の交差点部については、歩道段差のスロープ化や、点字ブロックの設置を行い、誰にでも利用しやすいように修正している。</p>  <p>歩道の段差スロープ化</p>	<p>(5) 県民の意見 広い歩道が確保され、以前に比べ歩行者・自転車の通行が安全にできるようになった。 正規の車道確保及び、停車帯の設置により、自動車の利用が便利になった。</p> <p>(8) 今後の課題 ・維持管理に関して周辺住民をまきこんだ県民協働への取組</p>
		<p>(6) 事業の効果</p> <p>交通処理 ・佐賀大和線との交差点に正規の右折レーンを設置したことにより、渋滞が解消し、交通処理機能が向上した。 ・停車帯を設けたことで、沿道の商業施設への荷下ろしのための交通阻害による渋滞が解消された。</p> <p>安全の確保 ・歩道が整備されたことにより、歩行者・自転車の安全が確保された。 ・歩道には、視覚障害者の方も安心して通行できるよう視覚障害者誘導用ブロックを設置した。 ・歩行者と自転車がお互いに安全に通行できるようにするため、舗装の材料や着色で視覚的な歩道と自転車道の分離を行った。</p> <p>良好な市街地の形成 ・停車帯が確保されたことにより、緊急車両のスムーズな通行等防災面が強化された。 ・電線類の地中化や街路樹の植栽等により良好な市街地が形成された。</p> <p>その他の波及効果 ・新たな商業施設やマンションが進出し、新しい街区が形成された。</p>  <p>交通処理機能の向上 (右折車線の確保)</p>  <p>歩行者・自転車の分離</p>	<p>(7) 地域住民との関わり ・毎年10月下旬より、佐賀市シンボルロード(中央大通り・唐人町通り)で開催されるライトファンタジーの時期に合わせて、周辺路線である当路線も街路樹の剪定を行っている。</p>	<p>(9) 新規、事業中への反映 今後の課題等を改善するための方策等 ・街路事業を新規に取り組む際、沿道住民と維持管理まで含めて道路整備計画を立案する。 新規箇所・継続箇所へのフィードバック ・自転車交通が多く、十分な歩道幅員が確保できる場合は、本路線のように視覚的に歩行者と自転車の分離を行い、歩行者と自転車の安全確保を図る。</p>	